

**祝 第61回 卒業おめでとう**



**まつゆみ**



〈編集/発行〉  
唐津工業高校  
PTA広報部

**卒業生に贈る言葉**



校長  
**東福 昌勝**

**卒**

業おめでとうございます。君たちは本日を境に新たなステージへと旅立っていく。「前途洋々」「順風満帆」を願いつつも、心のどこかで君たちが出会うであろう幾多の厳しい試練のことを思わずにはいられない。一度しかない人生であれば幸せな人生を送ってほしいというのが親心である。

幸せの定義は人それぞれであるが、建築家の安藤忠雄氏（81歳、がんを患い、五臓がない）は「本当の幸せとは、光の下にいることではない。光を遠く見据えて、それに向かって懸命に走る。無我夢中の時間の中にこそ人生の充実がある。」と述べている。

充実した人生は他人からではなく自分自身でつくるものだ。過去を振り返り、充実したと感じた時はどのような時であったか。多くは自分で決めたり、進んで取り組んだ時に充実感を感じたのではないだろうか。

政財界、スポーツ界を問わず、多くの成功者たちが「失敗を恐れず挑戦したことが、のちの成功につながった。」と語っている。君たちは無限の可能性を秘めている。君たちがこれからも学び続け、自分を信じ、

自分に関わる人々たちを大事に想い、志をもって社会のために貢献してくれることを期待している。「君なら必ずできる！」



PTA会長  
**末次 知浩**

**卒**

業おめでとうございます。高校生活を無事終えられて、卒業の日を迎えられる卒業生、保護者の皆様へ心からお祝い申し上げます。

皆さんの高校生活は、世の中がまさにコロナ禍での新しい生活様式へと移行していく中で生活であり、色々な制約を受けて大変な中、その様な状況でも色々創意工夫をされて充実した生活を送られた事と思います。また成人年齢が十八歳へ引き下げられて初めての卒業生となります。

これから新しい舞台へと旅立つ皆様へお願いしたいのは、何事にも感謝の気持ちを忘れずに、いつでも笑顔でポジティブな言葉を使っていたらいいなということとです。ポジティブな言葉を使うことで自分自身も前向きになりますし、周囲への印象も良くなり、良い人間関係が築けていけると思います。不安になること、嫌になることなどに直面することもあるかもしれませんが、その様な時こそ自分を成長させる良いチャンスだと考えてプラスに捉えていくと良い方向に進んでいくと思います。これからの皆さんが色々な場面で活躍されて人生が素晴らしいものになることを心から祈っております。

PTA役員並びに保護者の皆様、地域の皆様、ならびに先生方には、日頃よりPTA活動へのご理解、ご協力を賜りありがとうございます。少しずつではありますが縮小していた活動を再開、活性化させていけた事を感謝いたします。これからもPTA活動へのお力添え宜しくお願い致します。